

平成21年度 電力需給状況

需要の概要

平成21年度の販売電力量は、274億9千6百万kWh時、前年比 95.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月から9月の気温が前年に比べ低めに推移し、冷房需要が減少したことなどから、前年比 98.9%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 99.2%となった。

産業用の「大口電力」は、景気低迷を背景に、生産水準が低い状況が続いたことなどから、ほぼ全ての業種で前年を下回り、前年比 89.9%となった。

需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	9,464	98.9
	電 力	1,869	95.8
	計	11,333	98.4
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	6,351	99.2
	産業用電力	9,812	91.0
	うち大口電力	(7,582)	(89.9)
	計	16,163	94.0
販売電力量 計		27,496	95.8
融 通		3,446	56.2

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

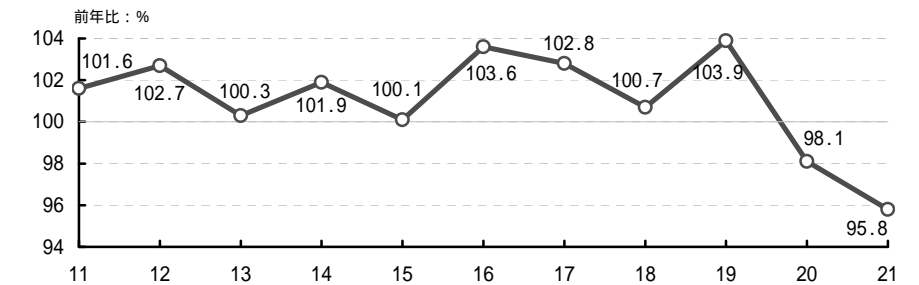
大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

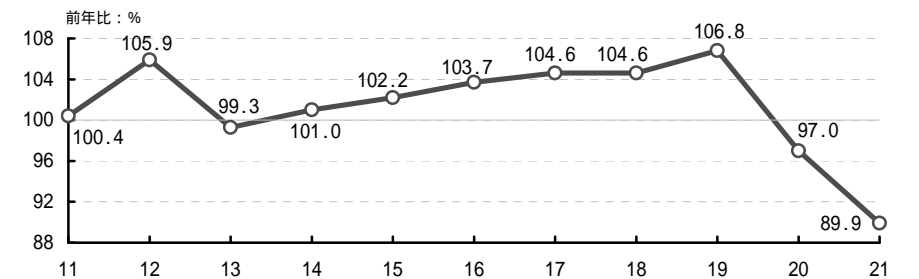
	電力量	前年比		
		21年度	20年度	19年度
織 維	315	71.1	83.5	94.9
紙・パルプ	1,480	82.4	96.6	125.6
化 学	1,150	89.5	92.8	100.2
鉄 鋼	814	86.9	101.0	102.1
機 械	1,653	96.2	97.1	105.1
そ の 他	2,170	96.3	99.7	103.6
合 計	7,582	89.9	97.0	106.8

注：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成21年4月より産業別内訳がそれ以前と異なる。
 平成21年度の前年比は、前年度実績を現在の区分に合わせることで算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温 ()

		7月	8月	9月	7~9月
夏季	実績	26.5	27.6	24.6	26.2
	平年差	0.0	0.3	0.8	0.3
	前年差	1.9	0.4	0.3	0.9
		1月	2月	3月	1~3月
冬季	実績	6.2	8.4	10.1	8.2
	平年差	0.4	2.3	0.8	1.1
	前年差	0.2	0.3	0.3	0.3

(参考4) 各県別の需要状況 (百万kWh時、%)

	徳島	高知	愛媛	香川
販売電力量計	(96.0)	(97.0)	(94.1)	(97.2)
	6,106	4,520	9,586	7,284

注：()内は前年比

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比94.2%となった。
- 水力は、渇水の影響により、前年比81.8%となった。
- 火力は、需要の減少などにより、前年比86.8%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(41) 14,102	94.2	出水率 79.2% (20年度出水率 98.0%)
水力	(8) 2,661	81.8	
火力	(50) 17,304	86.8	
新エネ	(1) 353	123.0	
発受電計	(100) 34,420	89.5	
その他	196		
供給計	34,224	89.5	

注1：新エネにはバイオマス(50百万kWh時)を含む 注2：()内は構成比